

2022年3月7日

Hondaの米国現地法人であるアメリカン・ホンダモーター（本社：カリフォルニア州 トーランス 社長：貝原 典也）は、現地時間2023年3月6日に以下を発表しましたので、その内容をご案内いたします。

プラットフォーム型の自律移動モビリティ「Honda Autonomous Work Vehicle」の新たなプロトタイプを CONEXPO-CON/AGG 2023 で公開

Honda は、プラットフォーム型自律移動モビリティの実験用車両「Honda Autonomous Work Vehicle（オートノマス ワーク ビークル、以下 Honda AWV）」の3代目となるプロトタイプを、2023年3月14日～18日まで米国・ラスベガスで行われる建設機械の見本市「CONEXPO-CON/AGG 2023」で公開します。



Honda Autonomous Work Vehicle 3代目プロトタイプ

Honda AWV は、CES 2018 に出展したプラットフォーム型ロボティクスデバイス「3E-D18」のコンセプトを基に開発された頑丈で耐久性の高い電動モビリティで、アタッチメントやツールの追加で、運搬をはじめ、さまざまな作業に活用できるプラットフォームとなっています。なお、Honda AWV は GPS による位置情報、レーダーやライダーによる障害物検知機能、その他のセンサー類を駆使して自律的に走行します。

2021年には、Honda AWV の2代目のプロトタイプを用いて米国南西部の大規模太陽光発電所の建設現場で実走行テストを実施しています。今回公開するのは、こうしたテストを通じて得た知見を踏まえ、各性能を向上させた3代目のプロトタイプとなります。

【3代目プロトタイプ的主要な特長（2代目プロトタイプからの変化点）】

- 積載量の拡大 880 ポンド (400kg) → 2,000 ポンド (907kg)
- GNSS サービスが弱い場所や利用できない場所でのナビゲーションを改善
- タブレット端末ベースのシンプルなプログラミングインターフェース
- 道路上に停止している障害物に対する回避機能の強化

Honda は、今後も Honda AWV の商品化を目指して北米でフィールドテストを実施するとともに、性能・仕様のさらなる向上に取り組んでいきます。

【Honda AWV（3代目プロトタイプ）の主要な仕様】

| | |
|--------------|--|
| 全幅・全長・全高 | 全幅 51 インチ (1,300mm) 全長 119 インチ (3,025mm) 全高 81 インチ (2,052mm) |
| 荷台のサイズ | 101 インチ (2,560mm) × 51 インチ (1,300mm) |
| 乾燥重量 | 1,765 ポンド (800kg) |
| 最大積載量 | 2,000 ポンド (907kg) |
| 最大速度 最高速度 | ・自律走行時：時速 10 マイル (16km) ・リモコン操作時：時速 2.5 マイル (4km) ~ (デフォルト設定) |
| 最小回転半径 | 11.4 フィート (3.5m) |
| バッテリー容量 | 18.6kWh |
| 最大積載時の航続距離 | 最大 28 マイル (45km) (ユースケースによる) |